

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

回答率

事業所職員： 8名回答、回答率 100%

保護者様： 23名回答、回答率 96%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・人員体制等は、基準以上の職員を配置できており、資格者が多く在籍している。
- ・環境面では、設置基準は満たしてはいるが、児童が走り回ったりするには少々狭いと感じている。

○業務改善

- ・責任者研修や管理者研修など毎月実施しているものを受講したり、外部の講師を招いて研修を実施し参加している。
- ・外部評価は実施できていないため、現在の課題である。

○適切な支援の提供

- ・個別支援計画の作成に関しては、半年以内に1度面談・アセスメントを行い、保護者の要望を踏まえて作成している。
- ・毎月の活動ではテーマを決め、季節に応じての活動などを固定化しないように設定している。

○関係機関や保護者との連携

- ・地域自立支援協議会に参加し、放課後等デイサービス事業以外の福祉施設者とも交流を図っている。
- ・学校などの関係機関とは、日々利用者の様子について意見交換をし、利用者の相互理解を図ろうと努力している。
- ・障害のない子どもとの活動は、児童館等にはいくことができていないが、近くの公園や地域の行事にて関わろうとしている。

○保護者への説明責任等

- ・日々の保護者との関係づくりでは、サービス提供記録や送迎時にて保護者とコミュニケーションをとることができている。また、保護者からの相談があった際は、電話でのお答えも積極的に行っている。
- ・地域に開かれた事業運営については、事業所への活動に招待はできていないが、地域の店に買い物へ行ったり、お祭りに参加したりは行っている。

○非常時等の対応

- ・避難訓練は毎月実施し、避難場所である小学校まで歩き、利用者へ周知している。
- ・虐待防止研修・ヒヤリハットの共有は定期的に行い、事故に繋がらないよう努力している。
- ・食物アレルギーのある児童に対しては、保護者と連絡を取り、対応方法を詳しく話し合っている。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

- ・職員の配置や専門性に関しては適正と答えていただいたのが95%以上と高い評価をいただいた。
- ・訓練室が小学生が運動するには狭いとのことをご意見をいただいた。

○適切な支援の提供

- ・個別支援計画の作成に関しては、「特性を保護者と確認しながら計画してくださっています」などのご意見を頂き、95%以上の保護者の方より客観的に分析して作成しているとお回答いただいている。
- ・障害のない児童との関わりを行う活動に関しては行ったことがないが、学校で交流していることもあり、必要性がないとの意見が多かった。

○保護者への説明等

- ・保護者会に関してはお仕事の都合などでタイミングが合わない方がいらっしゃるようで、多くの方が参加していただけるように今後改善していきたい。
- ・子供の発達状況や課題に関する共通理解や情報伝達に関しては多くの保護者から高い評価を頂いている。

○非常時等の対応

- ・緊急時対応マニュアル・防犯マニュアル・感染症対応マニュアルに関しては、策定しているが保護者の方に認知して頂いている方が少ないため、今後定期的に周知していきたい。

○満足度

- ・保護者の方は日々の支援に関して満足頂いている方が100%おり、「いつもどんな事も相談できる場所があることは母親としてはほっとしました」とのお言葉もいただいた。
- ・子どもは通所を楽しみにしているかに関しては、「先生(スタッフ)方がうけいれて下さる事がうれしく通所しています」などの意見を頂き、楽しみにして頂いている方が多くみられた。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・個別支援計画や日々の意思疎通に関しては、保護者の方からも満足頂いている方が多く、教室の強みと言える。
- ・自教室のスタッフ(放課後等デイサービス)が全員有資格者であり、支援の専門性は高いといえる。

○改善点

- ・災害時対応マニュアルなどのマニュアルに関しては、定期的に保護者の方に発信し、認知していただけていないこと。
- ・保護者会に関しては、日程の部分で参加できていない方も多くおり、より多くの保護者に参加していただけるように工夫が必要。



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・開かれた事業所になって行くために、地域行事に積極的に参加したり、地域への課外活動を今まで以上に積極的に行っていきたい。

○1年間で取り組む具体策

- ・多くの保護者の方々に保護者会に参加してもらえるように、親子のイベントを開催したり、毎回メインになる事柄を取り入れていく。

スマートキッズ